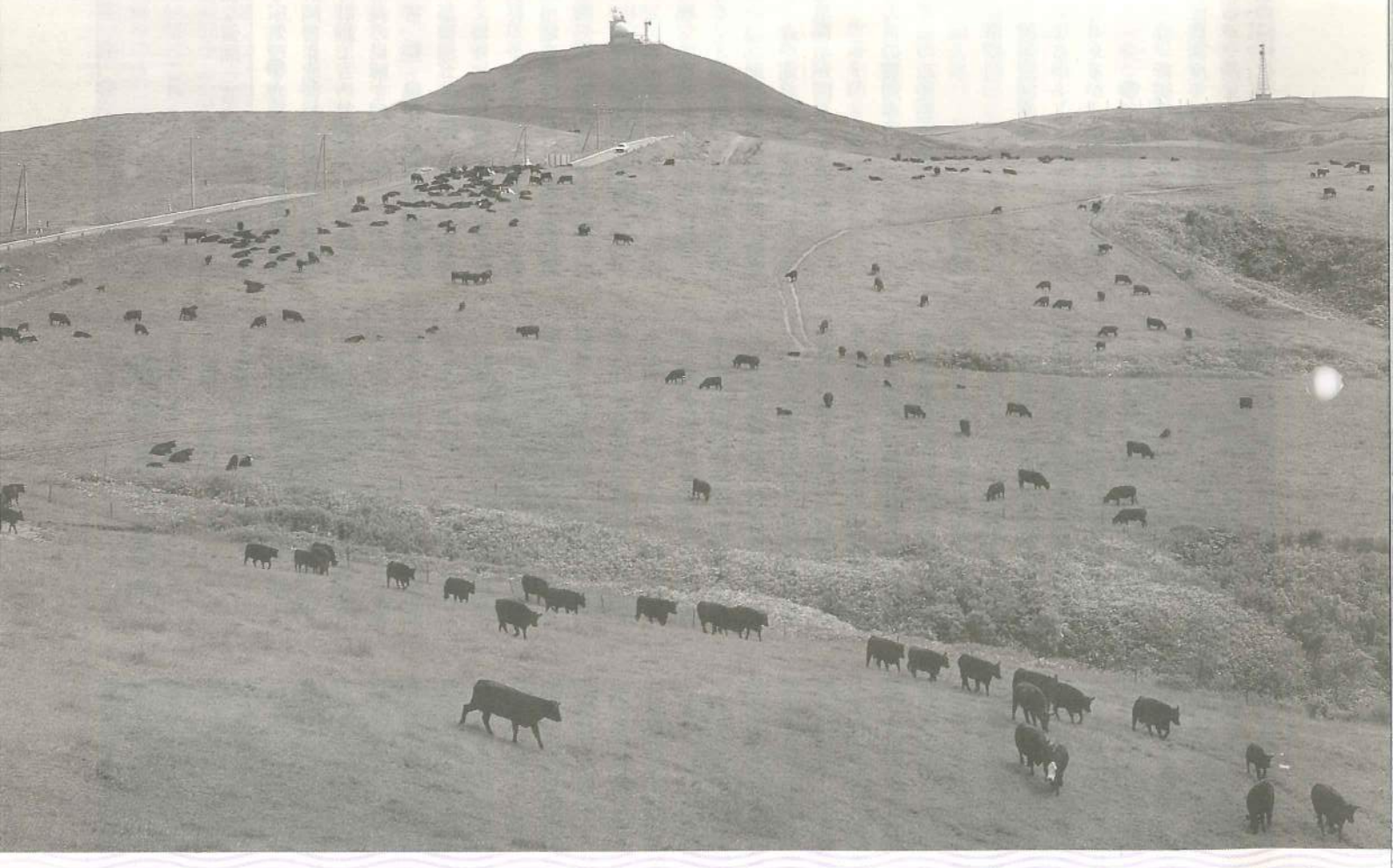
わっかない市議会だより

平成11年8月1日
第88号

最北の
雄大な宗谷岬肉牛牧場を望む!!



発行　稚内市議会
編集　編集委員会
電話　23-6161番(代表)
内線 281

六月定例会
一般質問から

各会派を代表して7人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

政友会 田森和文 議員

中心市街地活性化対策について

質問 国は、まちの空洞化現象解消を目的とした「中心市街地活性化法」を策定したが、これまでに本市の積極的な取り組みや具体策が示されていないが、今後の取り組みをどう考えているか、市長の見解を伺う。

問われる中心市街地再開発

答弁 稚内駅を中心に港湾地区と駅前商業地区の連携を図り、新しい稚内市の顔づくりを実現しようとするものであり、そのために関係調査を実施した。この調査は幅広い関係機関が参画し、委員会やワーキンググループを設置・協議してきたが、今後は庁内及び各関係者に提示された各モデルケースについて検証を行い、最適な事業展開の方向を検討していく。

廃棄物処理対策について

質問 市長は、当面はダイオキシン問題を考慮し焼却処理は行わず埋立方式を継続し、将来に禍根を残さない最良の方法を検討していくと表明しているが、この度、関係者の協力により数百年にわたり埋立処分が可能な用地を取得した。しかし、国が平成14年度までに求めている一般廃棄物・生ゴミ・し尿処理を含めた廃棄物処理対策計画書作成に対し、現行の埋立処分計画でこの対策が可能なのか、市長の見解を伺う。

答弁 現在、廃棄物の処理は一部資源ゴミを除き全量埋立処理しており、現施設は平成16年度で満杯が予想されるため、新たに処理用地を確保した。これからの廃棄物処理は資源化リサイクルやゴミの発生を最小限に抑制するなどの対策が必要であるが、最終的には埋立処理せざるを得ない状況にある。このため、中間処理施設・最終埋立地の整備を総合的に推進し、迷惑施設ではなく高い水準で環境保全が図られるよう進めていく。

その他の質問事項

- 市長の政治感覚
- 三役人事
- 経済問題
- 介護保険制度

市政クラブ 三宮正人 議員

産業振興について（育成と産業クラスター）

質問 元気な街「わっかない」の実現には、経済の回復が絶対条件であり、地場産品を活用した「食」による産業クラスターなどは即、取組み可能と考えるが。❶産業育成と産業クラスターへの取り組みについて。❷民間企業が国際港としての経済効果を求める企業努力を行っているが、行政として も更なるポートセールスを行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 ❶地場産業の育成については、新製品開発助成や設備投資融資制度等により振興に努めているが、産業クラスターは地域産業の活性化を図る上で重要な手段

就任あいさつ

議長
河合慎一

副議長
越後谷亮一

市民の皆様には、平素より稚内市政の発展に特段のご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。

私たちはこの度、五月十七日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長並びに副議長という重要な役職に就任することになりました。

まことに身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さを痛感いたしております。もとより微力ではございますが決意を新たにし、市政の発展と市民の幸せのために正・副議長一体となって誠心誠意努力いたす所存でございます。

さて、今日における我が国の経済情勢は少しずつ回復の兆しが見えてまいりましたが、依然として厳しいものとなっており、地方自治体におきましても、その影響を大きく受け予断を許さない状況であります。こういう時にこそ、行政と議会が車の両輪と言われることを肝に銘じながら、山積みする課題に取組み、その職責を全うする覚悟でございます。

市民の皆様におかれましても、市議会に対してより一層のご指導とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

議長・副議長の履歴

議長 河合慎一	
昭和62年初当選	現在4期目
平成3年	産業経済常任委員会副委員長
平成5年	民生文教常任委員会副委員長
平成7年	議会運営委員会委員長
平成9年	総務常任委員会委員長
副議長 越後谷亮一	
昭和58年初当選	現在5期目
昭和62年	民生文教常任委員会副委員長
平成3年	民生文教常任委員会委員長
平成9年	産業経済常任委員会委員長

と考えている。今後は各関係機関と協議の上、クラスターの普及や組織づくりを支援し産業の活性化を推進していく。❷ポートセールスについては、サハリン大陸棚地下資源関連で、メジャー及び関連企業に対しては海外・国内を問わず営業活動に取り組み、サハリンⅡのバックアップ契約等の成果を上げてきており、今後とも積極的に推進していく。

観光振興について
（東京直行便利用促進支援対策事業）

質　問　過去2年間、巨額の市費を投じ支援対策を展開し、今年度も継続の予定と聞いている。このような即効性のある助成を行っている今こそ、本市観光の更なる魅力づくりを新たな発想の下に検討する、そんなワーキンググループの設置が必要だと考えるが、市長の見解を伺う。

新たな支援策が望まれる東京直行便

答　弁　4年目以降の直行便支援への、新方策を探るため庁内ワーキンググループを設置し検討に着手した。新方策は観光産業の将来像も考慮し、自由な発想での提言を期待している。また、今後は市民各層の参加や意見交換の場を設けるとともに各関係団体とも連携をとりながら、新たな魅力づくりに取り組んでいく。

その他の質問事項
- 財政の再建と景気対策
- 北星短大の4年制への改組転換
- サハリン定期航路を含めたサハリン対応
- 中教審を踏まえた教育環境
- 介護保険制度の啓発

公明党　越後谷　亮　一　議員

融雪機設置とロードヒーティング補助について

質　問　昨年度は、大雪に見舞われ莫大な除排雪費を計上したところである。過酷な除雪作業から開放するためにロードヒーティングや除雪機購入希望者への融資や補助制度を実施している自治体が増えてきているが、本市としても実施することが過酷な除雪作業の解消と除雪費の軽減にもつながると考えるが、市長の見解を伺う。

望まれるロードヒーティングの充実

答　弁　補助制度については、道内16市が実施しており、私有地内に新たに設置する融雪施設に要する資金貸付又はその一部を補助

市民クラブ　山田繁春　議員

行政改革について

質　問　行政改革大綱に基づき、実施計画が進められているが、この大綱では市長が本市をどう導いていこうとするかが欠落し、実施計画についても極めて具体性に欠けると考えるが。❶重要案件は結論すらだされておらず、中途半端である。この状況をどう判断しているか。❷今年度が実施計画最終年度だがこのまま終了か、継続取り組みか、これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶これまでの行革は、内部意思決定から実施に至るプロセスが決定的に欠けており、職員の意識改革も進まず、結果として不十分な取り組みだったと判断している。今後は、意思決定から実施に至るプロセスを明確にする。❷行革の目標は、市民が豊かさを実感し、住んでよかったと思えるまちづくりに貢献できる機構・組織・仕組みづくりを進める事と認識しており、見直すべき必要のあるところは積極的に見直していく。

少子化社会の対応について

質　問　年々進行する少子化傾向に歯止めをかけ、子供を産み育てることに夢をもてる社会づくりの支援策が求められているが、❶市独自の3歳児児童手当支給について。❷4歳未満児の通院医療費の無料化について。❸延長保育・一時的保育・幼稚園の3歳児保育について。❹保育料の25%削減について。❺放課後児童対策事業の実施について。❻第3子以降の出生奨励金として年間10万円支給について。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶今後計画的に検討していく。❷道では2歳未満児の通院と6歳未満児の助成を行っているが、本市はさらに1歳拡大し3歳未満児の通院を助成しており、今後計画的に検討する。❸午後6時まで延長保育を実施し、3歳児保育については市内8ケ所の幼稚園で実施している。❹国の前年度単価を基準に、公平な負担を目処に低所得者の負担軽減措置を講じる。❺学校校区である緑・富岡・宝来・東の4ケ所に学童保育所を、港地区では港ふれあいセンターを有効に活用している。❻育児への経済的・時間的負担を軽減すべく今後計画的に検討していく。

その他の質問事項
- 財政・行政改革
- 公共事業・都市計画
- リバース・モーゲージ（逆抵当）制度

ゴミの減量化について

質　問　平成22年度を計画目標年次とする新しい稚内市ごみ処理基本計画が策定され、廃棄物循環型処理とゴミ排出抑制・再資源化を基本方針とし各計画が立てられ

ゴミの減量化が期待されるリサイクル事業

ているが、❶全体的推進計画の進行状況と今後の進め方について。❷紙類の再資源化計画の促進について。❸ゴミ減量化に伴う施策の策定について。❹新しい分別収集及び処理体制への移行について。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶平成7年に基本計画を策定したが計画どおり進んでいない。また、リサイクル法やダイオキシンなどの問題から、計画を見直した改定作業に着手する。❷紙類については再資源化を考えており、平成12年度から試行実施の方向で検討している。❸排出者の視点に立ち、判りやすい処理計画を策定していく。❹市民参加による計画策定を基に、処理施設の種類と整備年次を明確にした上で、民間事業者との新たな協力関係を構築して取り進めていく。

その他の質問事項
- 市立病院の諸問題
- 宗谷畜産開発公社

民主クラブ　生田目　幸　男　議員

産業の振興について（酪農）

質　問　21世紀を向かえ、日本の農政が大きく変わろうとしているが、❶国営総合農地防災事業の取り組み状況と採択見通し。❷農業廃棄物処理支援とふん尿処理問題について。❸担い手確保の具体策について。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶稚内中部地区国営総合農地防災事業促進期成会を設立し、事業実施に向け協議を行っている。平成12年度の採択に向け、各関係機関に要請行動を展開していく。❷法律の一部を改正を受け、宗谷支庁がリサイクル利用のための広域処理体制をスタートさせ市内農協も参画している。市の支援については今後総合的に判断していく。ふん尿処理施設の整備についても畜産環境保全施設整備事業の活用により、公共事業で実施できない農家については積極的な整備を進め、環境汚染の発生を防止していく。❸新たに本市において農業を営もうとする者に対し、経営の早期安定を図るために稚内市新規就農支援条例を制定する。また、新規就農希望者を育成する事等の目的で農業実習生育成事業を展開している。

産業の振興について（水産）

質　問　平成11年度基幹漁業総合再編推進事業は、日本海域における資源の減少を理由に、将来的発展と安定した資源管理型漁業への転換を図るための自主減船であるが、❶永年にわたり本市の基幹産業である沖合漁業を支えた3隻51名の船員が減船により離職となり、その船員家族が生活基盤を失う事となった。昨今の雇用情勢は大変厳しい状況にあり、船員の再就職が最大の問題であるが、生活不安解消と再就職に対する沖合低曳網漁業の振興対策について。❷本市の漁業はこれまで沖合漁業が大きく貢献し経済を支えてきたが、栽培漁業及び管理型漁業も大きなウエイトを示している沿岸漁業の振興策としての漁業後継者育成対策について。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶沖合低曳網漁業に従事し減船により離職された乗組員に対しては、残存漁船への乗り換えや船員経験を活かした職種への再就職を積極的に支援し、水産課を窓口として適切かつ迅速に対応していく。❷国や道の支援を受けながら漁業基盤の整備をし、資源育成強化対策、漁場の造成や蓄養施設を含めた漁港整備等を実施して漁業経営の安定化と働きやすい環境づくりを図り、技術習得や資格取得等担い手に対しての経費を支援する。

その他の質問事項
- 政治姿勢と行財政改革
- 産業の振興
- 富士見地区宿泊施設建設

日本共産党　三　谷　典　子　議員

第3セクターのあり方について（宗谷畜産開発公社）

質　問　第3セクターの経営破綻が続出している中、本市においても、宗谷畜産開発公社に6億円の損失補償の提案がされたが、❶初期投資の目的と公共性・公益性は。❷14年度から単年度黒字としているが、根拠が曖昧で赤字解消にはつながらないのでは。❸3セクによる甘えの体質になっていないか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶日本の食料基地として土地利用型畜産生産展開を目的とした国の事業として開発された。公共性・公益性については、肥育素牛の導入等、地元農協・農家と連携し、地域畜産との共存共栄を目指している。❷12年度から千三百頭出荷体制を継続できれば、14年度には単年度黒字に転換できると考えている。しかし、今後の経営が計画数値と大きく乖離することがあれば、解散も念頭におく決意である。❸大幅な人員削減や販売力強化など生産性が向上してきており、また、市が先頭に立って経営改善に務め、努力する体制を確立した。

介護保険について

質　問　介護保険の実施が迫っており、現行の福祉水準が後退することがあってはならないが、❶保険料は、第1・第2段階の被保険者が支払い可能な額か。❷低所得者への減免制度は。❸新ゴールドプランの進捗状況は。❹特養老人ホーム待機者への対応は。❺ヘルパーの身分、賃金等処遇改善と増員の考えは。❻横だしサービスと認定外サービスを一般会計の福祉事業として位置づけしては。これらについて市長の見解を伺う。

答　弁　❶第1段階の180名のうち170名は生活保護を受けている方で、保険料相当額が生活扶助費として支給されているため支払いが可能と判断している。❷介護保険料と利用料の減免は時間をかけ検討したい。❸新ゴールドプランの一部未整備については民間誘致も考え検討していく。❹待機者については、老人保険施設等を活用しながら対応していく。❺賃金等は市の給与等を準用している。また、介護保険導入により民間事業者の参入が予定されていることから、増員が図られるものと考えている。❻検討を進めており、財政の許す範囲で実施していきたい。

その他の質問事項
- 市長の基本姿勢
- 平和の問題
- 教育問題
- 第3セクターのあり方
- 介護保険（認定審査）
- 乳幼児保育

真正クラブ
魚住光信議員

稚内市の将来像に対する定住策について

質問 本市の経済は、水産・酪農・観光を基幹産業と位置づけ稚内市発展のため努力している現状にあるが、❶水産業及び酪農業を取り巻く環境が厳しく、従事者の減少が最大の問題と考えるが、その対策は。❷産業発展に向けた諸施策の実施の必要性。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶第1次産業を取り巻く環境が厳しく、雇用の場を失い人口が減少していることは理解している。今後は、第3次稚内市総合計画に即して様々な取り組みを進めていく。また、これからは交流人口に耳目を傾ける必要があり、サハリン州との経済交流の拡大などに積極的に努めていく。❷水産業では、生産性を高めるために計画的増養殖を確立し、農業では、国際的競争に耐えうる農業経営の確立を、更にはサハリン地下資源開発に関連した後方支援基地としての稚内港のインフラ整備やCIQ施設の充実を図ることが、本市経済の活性化につながると考えている。

宗谷本線の存続について

質問 今国会で審議されている鉄道事業法の一部改正に伴い、事業者の路線廃止手続きは許可制から届出制になり、不採算路線については、廃止の対象となる可能性も高く、宗谷本線も該当するのではと危惧する。宗谷本線存続に対する取り組み内容と今後の対応について、市長の見解を伺う。

問われる宗谷本線の存続

答弁 宗谷本線に関する諸問題は、その沿線の関係市町村による協議会を設け、JR北海道株式会社と協議・要望等を行ってきた。質問の路線廃止については、1年前の事前届け出制に改正となるが、併せて関係地方公共団体及び利害関係人の意見聴取が義務付けされ、一方的な廃止はできないことになっている。市としても路線存続の必要性については論をまたないところであり、協議会との連携を図りながら積極的な要望・要請活動を行っていく。

その他の質問事項
- 治山雪崩対策

議案特別委員会
総括質問から

各会派の持ち時間の範囲で9人の委員から総括質問が行われました。質問の主なものを紹介します。

政友会

田森和文委員
- 萩見地区の道路側溝整備の進捗状況は。
- 側溝整備の今後の全市的整備計画は。
- 市と気象台が連携し酪農家に対してきめ細かな気象情報の提供の考えは。
- 大岬地区の土地崩壊被災箇所に対する治山事業の進捗状況は。
- 同地区休憩・展望施設の建設計画と今後の造林事業計画は。
- 大雨による災害発生と宗谷丘陵開発の因果関係及び対応策は。
- 中心市街地活性化対策の政策のねらいは。
- 道内の中心市街地活性化対策の取り組み状況は。
- 同対策に係る省庁別の予算額の内訳と今後の取り組みは。
- 現在の中心市街地の空動化現象の原因認識は。
- 今後の空き店舗対策は。
- 市のTMO（タウンマネージメント機関）に対する推進体制は。
- サハリン定期航路の利用客の推移は。
- サハリン定期航路の利用客予約の計画数値算定基準は。
- 東日本海フェリーから市に対しての具体的支援の要請内容は。
- 現在の市役所職員の平均年齢は。
- 係長職及び係長職以上の役職別平均年齢は。
- 参事・副参事制導入に向けての今後の見解は。

市政クラブ

小林美和子委員
- 国営総合農地防災事業採択にむけ国・道に対する要請行動は。
- 畜産開発公社の経営に対する見解と、稚内牛の販売促進対策について。
- 宗谷丘陵の風力発電施設建設に対する土地使用料は。
- 東京事務所開設についての政策的意図は。
- 介護保険制度の実施に伴う在宅看護及び施設利用の比率は。
- 介護技術の普及活動・啓発に対する施策は。
- 少子化・核家族化・女性の社会進出等による特別養護老人ホームの今後の増築計画は。
- 高齢化社会に対応できる福祉のまちづくりに対する取り組みは。
- 本年度の東京直行便に対する支援策の内容は。
- 同直行便での新たな助成策の検討のため、庁内ワーキンググループを組織する考え及び選出方法は。
- 北星短大に対する道の補助額と今後の見通しは。
- 四年制大学に改組転換することによる就職率の算定は。
- 市の就学支援に対する施策は。
- 統廃合対象小中校の在学生の現況は。
- 学校統合に対する地域やPTAの考えは。
- 放置されたロシア犬による被害状況は。
- サハリン交流に対する市の基本理念と今後の対策について。

河野至緒委員
- 基幹産業である漁業に対する振興策は。
- 三漁組の事業計画がそれぞれ予算減になっている現況及び実状把握について。
- 宗谷畜産開発公社の経営全般の検証と今後の計画は。
- 北星短大の四年制改組転換に対する大学理事会と稚内市との係わりは。
- 同大学での社会人再入学と海外研修生に対する取り組みは。

●当初予算にサハリン交流の財政的支援が計上されなかった理由は。
●新学習要領に対する認識と今後の取り組みは。
●教育研究所に対する稚内市としての基本的考えは。
●学校図書の整備・充実計画について。
●幌延深地層研究計画に対する理事者の考えは。

公明党

館野恒一委員

●富士見地区の宿泊施設建設予算が今定例会で計上されない理由は。
●同建設計画が検討された期間は。
●日ロ定期航路の利用減に対する検討及び対策は。
●同航路の料金見直しの検討は。
●二十一世紀グランドデザインと第三次稚内市総合計画との整合性は。
●仮称、稚内事業公社（産業クラスター）の取り組みは。
●稚内市観光振興計画と地域の将来像に対する市長の決意は。
●職員と市民との「まちづくり委員会」の基本理念は。
●高齢化社会に対する未整備事業の今後の取り組みは。
●介護保険の認定外の人に対する市独自の対応策は。
●学校バリアフリーの取り組みは。
●洋式トイレの整備に対する考えは。

鈴木茂行委員

●無料バスの利用状況と契約額の現況及び事業継続性について。
●学童保育所の入所学年の引き上げの考え及び同関係手続きは。
●市内各学童保育所に関する改善要望と実施状況並びに環境整備に関する基本的考えは。
●少子化対策としての幼稚園・保育所の延長保育の必要性は。
●緑地区東の通学路とクサンル川・ウエンナイ川の危険箇所に対する見解について。
●緑地区通学路のトイレ設置について。
●ボランティア活動の現況と今後の取り組みは。
●みどりのボランティア活動に対する市長の見解は。

市民クラブ

中井淳之助委員

●沼川・宗谷両支所に管理職を置く必要性について。
●大型小売店舗や公共施設等に市出張所としての総合窓口設置についての基本的考えは。
●同出張所開設について検討する考えは。
●観光振興の将来ビジョンと現在の認識は。
●官と民における観光施策に対する役割分担は。
●観光センター内に商工観光課を移設する考えは。

●庁内ネットワークの進捗状況は。
●イントラネットの具体的内容は。
●イントラネットは管理職から部下へとトップダウン方式で適用すべきと考えるが。
●水夢館の総利用者数と一般利用数及び専用利用数は。
●同施設の部門別利用状況と料金設定は。
●同施設に管理職を配置すべきと考えるが。
●サハリン定期航路に対する財政支援の具体的内容は。
●インターネットホームページの現況の把握及び今後の改善に対する基本的認識は。
●同ホームページの内容充実を図るため、民間委託の考えは。

民主クラブ

生田目幸男委員

●樺岡大規模草地の基盤整備の状況は。
●同施設の増築と乳牛預託料の軽減に対する対策は。
●宗谷丘陵肉牛牧場の観光客の入り込み数は。
●同牧場に対する観光PRとして旅行エージェントの具体的取り組みは。
●同牧場の観光面での整備の必要性は。
●東京直行便の支援対策状況は。
●東京直行便支援策での各施設・バス運賃等の無料提供の必要性は。

●管内高校の修学旅行助成制度の取り組み状況は。
●東京事務所設置に関する市長の考えは。
●外部委託に関する庁内の窓口対策と今後の見直し。
●委託契約に関するチェック体制は。
●大沼球場の芝生管理を委託で行うことによる技術的な問題は。
●芝生の面積と化学肥料の量は。

（関連質問）松本勝利委員

●庁舎清掃業務委託に際し、落札業者が辞退した後の、再入札処理の経過について。
●母子会会員と同会の事業内容は。
●市職員の振興公社への派遣に対する基本的見解は。

日本共産党

斉藤信義委員

●介護保険制度導入に対する行政見解及び基本方針は。
●低所得者の保険料に対する対策は。
●利用者の一割負担等の減免措置を導入する考えは。
●非課税世帯のうち全体の何割が無料で介護を受けられるのか。
●ホームヘルプサービスの一日当り平均時間と最高最低の回数は。
●ケアマネージャーの人数と処理件数は。
●不服申し立てに対する対策は。
●農業後継者として新規入植者及びUターン者等への支援策は。

●私有地内の集乳道路整備に対する見解について。
●公営住宅改修及び今後の建設計画は。
●今後の公営住宅建設計画は。
●環境ホルモン検出の疑いがある給食用ポリカーボネート食器廃止の考えは。

市民改革ネット

東方豊松委員

●職員研修の名称を変更しては。
●国家資格を有する専門職の合同研修に対する基本的考えは。
●国家資格を有する専門職の配置見解及び必要性について。
●専門職間の交流の場は。
●行政として人材育成の基本的考えは。
●職員の専門職化に対応した自己申告制度の導入について。
●第三次稚内市総合計画にある新図書館建設の見通しは。
●図書館協議会の委員選出の際に一般公募制度を取り入れることはできないか。

期待される定期フェリー航路

議案特別委員会から

議案特別委員会では、各会計補正予算等の審査を行いました。主な質問要旨を紹介します。

●東京直行便助成策の実績と今年度の方針は。
●TVHの導入に向けた行政の取り組みは。
●広告予算算定に対する全庁的協議・検討状況について。
●地域集会所の洋式トイレ設置実態は。
●洋式トイレへの転換は各町内会からの要望か、それとも行政主導で行われているのか。
●洋式トイレへ転換の際に各町内会の費用負担割合は。
●来庁できない障害者に対して行政の出張サービスを実施する考えは。
●障害者用移動浴槽の利用実績及びPR強化策は。
●介護保険での訪問調査1件当たりの委託料は。
●在宅調査と施設調査では委託料の違いがどの程度でるのか。
●0歳児保育の受入れ増に向けての対策は。
●保健婦就学資金貸付金が一般会計と病院会計で分かれて計上されている理由は。
●国の補助を受けられる様に、勤労者共済会組織を管内で組織する計画があったが、その後の経過は。
●広域性をもった団体を組織するための他町村との協議の進み具合は。
●市民団体が植樹を希望する際に土地を提供する考えは。
●稚内霊園前迂回路を整備する際に特色をもった道路整備をする考えは。
●臨港用地内に用途外施設が建っているが、撤去させる考えは。
●国の要綱と市の条例では表現に食い違いがみられることについての行政見解と条例改正を行う考えは。
●東学童保育所の改修内容は。
●自然の家特別清掃業務内容と事業発注方法は。
●職員勧奨退職制度を管理職に限定している現行から、一般職まで間口を広げる考えについて。
●看護婦や現業職員も同制度の対象範囲として拡大しては。
●国民健康保険税の収納率及び滞納世帯数は。また、今後の収納率向上対策は。
●新規就農支援条例に規定する相続に関する部分の規則委任に対する整合性と助成の継続に対する取り扱いについて。
●同条例で計画する農業所得水準を500万円としているが、平均的農業所得からみて妥当な数字なのか。

採択された請願及び要望意見書

分権一括法案の徹底審議と必要な修正を求める請願及び要望意見書

政府は地方分権の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案を国会に提出した。これは、新たな自治制度を作るという意味で評価できるが、その中に地方分権の流れに逆行しているものが含まれているため、問題の解明と必要な修正を強く求める。

雇用保険給付の改善と雇用創出を求める請願及び要望意見書

我が国の雇用・失業情勢は最悪の記録を更新し続けており、北海道の状況は全国水準を更に上回る厳しい情勢下にあることから、失業者の生活安定と雇用創出を図る対策を実行するよう強く求める。

保育施策の拡充を求める請願及び要望意見書

我が国の少子・高齢化は他の国に例を見ないスピードで進んでいる。この少子化への対応は、子どもたちが健やかに育つ社会、男女がともに仕事と育児が両立できるゆとりある職場・家庭・地域生活の実現に向けて社会環境を整備することであり、とりわけ保育施策を中心とする子育て支援策の充実は欠かすことはできないことから、必要な施策を講じるよう強く求める。

各常任委員会の構成が決まりました。

総務常任委員会

この委員会は、市の総合的な企画、財政運営、市税の賦課・徴収、防火・防災対策、選挙事務、公平委員会、監査委員の所管に属する事務について調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　山田繁春
副委員長　館農恒一
委員　小林侃四郎
〃　前田修悦
〃　竹村海一
〃　河野至緒
〃　松本勝利

民生文教常任委員会

この委員会は、福祉対策、環境・保健衛生、公害対策、国民年金、国民健康保険、市立病院など市民に直接関係ある事項や教育行政全般について調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　田森和文
副委員長　藤谷良幸
委員　岡本雄輔
〃　三宮正人
〃　越後谷亮一
〃　長谷川喜市
〃　三谷典子
〃　東方豊松

建設産業常任委員会

この委員会は、土木・建築工事関係、都市計画、上・下水道、公園、港湾、市営住宅、水産業の振興や酪農、商工業、農林業、観光振興などについて調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

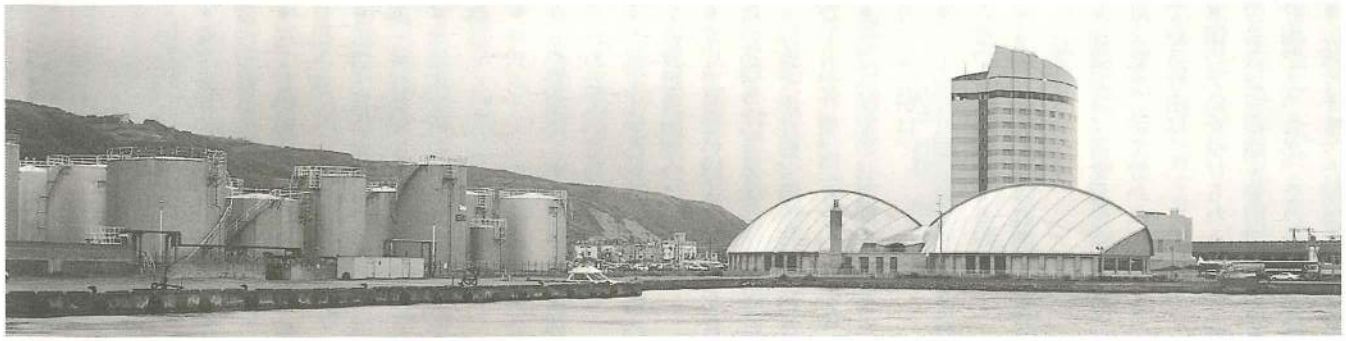
委員長　生田目幸男
副委員長　斉藤信義
委員　石塚公次
〃　菅原清治
〃　小林美和子
〃　鈴木茂行
〃　中井淳之助
〃　魚住光信

議会運営委員会

この委員会は、議会の運営を円滑に行うため、各会派から選出された委員によって構成された委員会です。

委員は次のとおりです。

委員長　前田修悦
副委員長　中井淳之助
委員　田森和文
〃　三宮正人
〃　館農恒一
〃　生田目幸男
〃　三谷典子



本会議と各委員会の出欠状況

区分／議員名	席数・出べき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数	区分／議員名	席数・出べき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数
石塚　公次	11	3	8（病）	館農　恒一	21	21	
岡本　雄輔	12	12		中井淳之助	21	21	
小林侃四郎	11	10	1（私）	藤谷　良幸	12	12	
田森　和文	21	21		山田　繁春	11	11	
前田　修悦	22	22		生田目幸男	21	20	1（私）
河合　慎一	19	14	5（公）	長谷川喜市	12	12	
河野　至緒	11	11		松本　勝利	11	11	
小林美和子	12	12		斉藤　信義	12	12	
菅原　清治	11	11		三谷　典子	21	21	
竹村　海一	11	11		魚住　光信	21	21	
三宮　正人	21	21		東方　豊松	21	21	
越後谷亮一	20	19	1（私）				
鈴木　茂行	12	12					

注：(1)出席すべき日数は、５月１日から７月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

議会日誌

5月

10・各会派代表者会議・各会派幹事長会議
11・各会派代表者会議・各会派幹事長会議
12・各会派代表者会議・各会派幹事長会議・大洲市議会議員来局
13・**議会運営委員会**
17・**第3回臨時会（本会議）**・**議会運営委員会**・議案特別委員会
18・北海道市議会議長会道北支部議長会議（紋別市）
20・各会派代表者会議
21・羽咋市議会議員来局
24・各務原市議会議員来局
25・北海道市議会議長会定期総会（伊達市）
27・**正副委員長会議**
28・消防議会
29・**議会運営委員会**・各会派代表者会議

6月

1・**地視察**）
2・**議員研修会**
9・**議会運営委員会**・高松市議会議員来局
10・**第4回定例会（本会議・ナイター）**・**議会運営委員会**・議員会役員会
14・**本会議（一般質問・ナイター）**
15・**議会運営委員会**・議員会総会
16・**本会議（一般質問・ナイター）**
17・**議会運営委員会**・議案特別委員会・建設産業常任委員会・全国市議会議長会定期総会（東京都）
18・**3常任委員会合同委員会（現**
22・**本会議**
23・議案特別委員会・総務常任委員会・**民生文教常任委員会**
24・議案特別委員会・**議会運営委員会**・各会派代表者会議・東広島市議会議員来局
25・議案特別委員会・**議会運営委員会**・議会だより編集委員会・図書室運営委員会・二本松市議会議員来局
28・**本会議**・正副委員長会議
29・舞鶴市議会議員来局

7月

1・岐阜市議会・更埴市議会・東松山市議会議員来局
2・消防議会・豊橋市議会議員来局
6・玉名市議会・三条市議会・松本市議会議員来局・全国民間空港所在都市協議会総会（東京都）
7・犬山市議会・浜松市議会議員来局
8・越谷市議会議員来局
9・**介護保険制度準備特別委員会**・城陽市議会・田辺市議会議員来局
13・**民生文教常任委員会**・前橋市議会・金沢市議会議員来局
14・石巻市議会議員来局・北海道市議会議長会職員研修会（砂川市）
15・**議会運営委員会**・サハリン調査**特別委員会**
19・板橋区議会議員来局
21・**建設産業常任委員会**
26・佐屋市議会議員来局
27・高山市議会議員来局
28・**総務常任委員会**
29・野田市議会・寝屋川市議会議員来局
30・

9月定例会の日程

8日　◇本会議
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
9日～12日　休会
13日～14日◇本会議
・一般質問
15日　休会
16日～17日◇議案特別委員会
・予算・条例・単行議案の審査
18日～19日　休会
20日　◇本会議・決算特別委員会

本会議は5階議場で、各特別委員会は5階正庁の間で開きます。

なお、決算審査については閉会中に行います。

議会を傍聴しませんか

☆手続きは簡単です☆

◆お問い合せは
議会事務局
（☎23－6161・内線281）まで

編集後記

4月の統一地方選挙から早いものでもう4ヶ月、稚内も短い夏のさかりを迎えています。議会も新たに選出された議員で6月議会を終えました。新しく構成された議会便りの編集委員会は8人中5人が新議員というフレッシュな委員会になりました。市民のみなさんに少しでも議会を身近に感じていただけるような紙面づくりを目指してがんばっていくつもりです。よろしくお願いします。

議会だより編集委員会

委員長　中井淳之助
副委員長　松本勝利
委員　田森和文
〃　小林美和子
〃　鈴木茂行
〃　三谷典子
〃　魚住光信
〃　東方豊松